

冬のカテ看護実力テスト 臨床工学領域編

Q1

FFR (Fractional Flow Reserve) は何を評価するものか、以下の中から一つ選べ。

- ① 血管狭窄度
- ② 虚血評価
- ③ 冠動脈内径の面積
- ④ 冠動脈内 plaque の性状
- ⑤ 冠動脈の石灰化指数

Q2

FFR 測定において、ATP (アデホス[®]、トリノシン) を用いて最大冠拡張を惹起しようと思う。ATP の副作用、合併症に関する以下の記述のうち誤っているものはどれか、一つ答えよ。

- ① 体血圧の低下
- ② 心拍数の上昇
- ③ 心室細動
- ④ AV block
- ⑤ 動悸 (胸部症状)

Q3

看護師：木下リキオさんは5年目のナニワのナース。カテーテル室所属となって1年が経とうとしていた。今日は患者：中林康子さんのカテーテル検査を担当する予定である。

カテーテル室にて冠動脈造影を行ったところ、LCXに75%狭窄を認めたため、FFRを施行することとなった。FFRに関する説明のうち、明らかに誤っているものはどれか、以下の中から二つ選べ。

患者：中林康子さんについて

【診断名】 安定狭心症

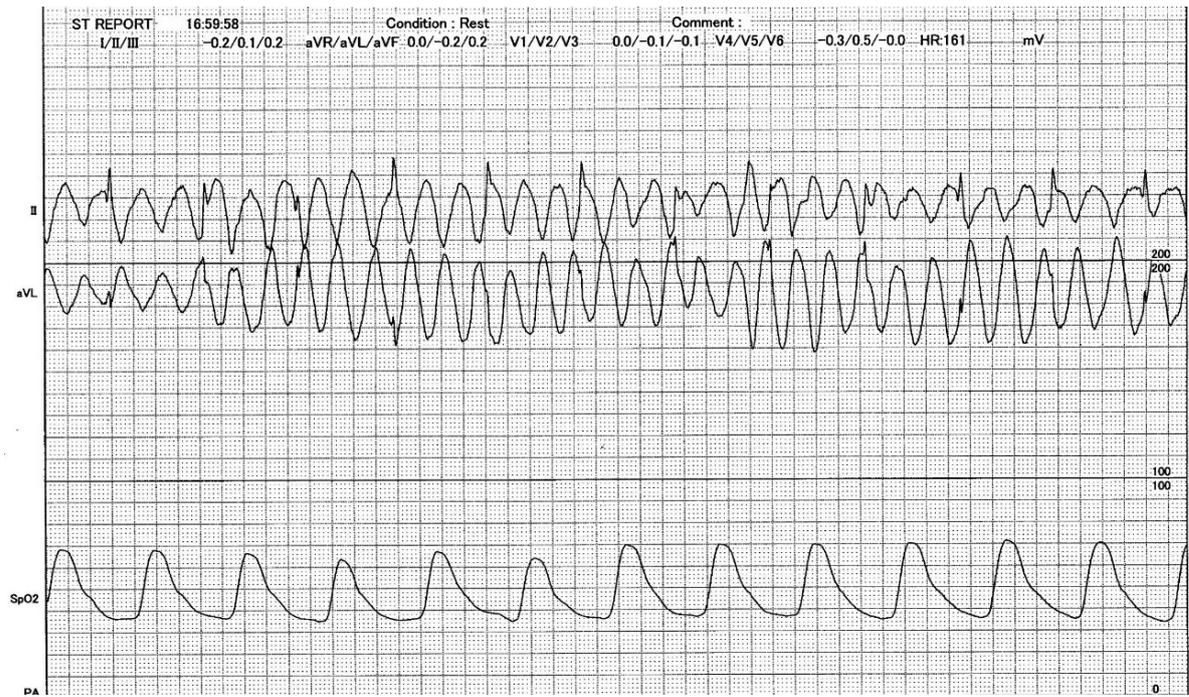
【併発疾患・既往歴】 II型糖尿病、高血圧、喘息（ステロイド吸入中）

【検査当日の行動】 朝食にバタートースト2枚、ベーコンエッグ、グレープフルーツ、コーヒー2杯を摂取した。

- ① 併発疾患に喘息があるため、FFR測定はATPの使用を避けた方が良いでしょうと考えた。
- ② 検査前にコーヒーを摂取しているため、FFR測定においてATPの使用は避けた方が良いのではないかと考えた。
- ③ 検査前にグレープフルーツを摂取しているため、FFRは施行できない。
- ④ ATP持続静注中、Pd/Pa (FFR) の値が全く変動せず、患者の循環動態や症状に変化が認められたため、点滴がしっかり入っているか確認した。
- ⑤ LCXの高度狭窄は明らかであるので、冠動脈造影後のFFRは保険診療適応とはならない。

Q4

緊急カテーテルの準備中、患者さんにマンシェットの装着、剃毛、覆布で覆っている際、下記のポリグラフの波形が確認された。考えられるものは以下のうちどれか一つ選べ。



- ① 心室細動
- ② 心房細動
- ③ 12誘導波形に生じたノイズ
- ④ 心室頻拍
- ⑤ 心停止